

広域ヨーロッパ研究センター・ムセイオン静岡

特別講義

# ブリテン諸島の少数言語ウェールズ語は いかにして復興したのか



日時：2019年6月20日（木）14:40～16:10

会場：国際関係学部棟3階3316講義室

講師：森野 聡子氏（静岡大学情報学部教授）

ウェールズの言語政策や言語状況をアイルランド・ゲール語との対比を通して  
社会言語学的に考察します。



## 講師紹介

専門分野：メディア・リテラシー、メディア記号論、マルチカルチュラルイズム

著書：森野聡子・森野和弥著『19世紀ウェールズの観光言説と詩に表象される民族的  
イメージの考察』青山社(2007)

F. デイレイニー著/森野聡子訳/鶴岡眞弓監修『ケルトー生きている神話』創元社(1993)

中央大学人文科学研究所編『アーサー王物語研究 源流から現代まで』中央大学出版部(2016)

木村正俊・松村賢一編『ケルト文化事典』東京堂出版(2017)

吉賀憲夫編『ウェールズを知るための60章』明石書店(近刊)

ほか

お問い合わせ：国際関係学部 米山(yoneyama@u-shizuoka-ken.ac.jp)

どなたでもお気軽にご参加下さい！